

郷土講演会

野崎まいりの歴史と文化

人形浄瑠璃お染・久松の恋物語でおなじみの「野崎まいりは屋形舟でまいろ・・・」で始まる「野崎小唄」は大阪から今福・徳庵を経て野崎観音へ至る野崎街道が背景となっています。また、落語の「野崎詣り」はこの道中の舟の乗客と通行人とのやりとりをユーモラスに演じたものです。今福小学校には旧野崎道の顕彰碑が建っており、城東区と関わりの深いこの「野崎まいり」の歴史について詳しくお話しいたします。

講師：^{かさいとしみつ} 笠井敏光氏 (大阪国際大学教授)

1956年大阪市生まれ。大阪大学大学院博士課程単位取得。大阪府羽曳野市で文化行政、生涯学習を担当後退職。大東市の文化施設館長を歴任する。考古学、博物館学、生涯学習論等幅広い分野で活躍中。著作に『京都・観光文化への招待』(ミネルヴァ書房、2012)、『入門・文化政策』(ミネルヴァ書房、2008)などのほか、論文等多数の実績がある。



日時：平成28年3月27日(日)午後2時～4時

会場：大阪市立城東図書館多目的室

大阪市城東区中央3-5-45

電話06-6933-0350

地下鉄長堀鶴見緑地線・今里筋線

「蒲生四丁目」駅7号出口から北西方向に300メートル

図書館ホームページ<http://oml.city.osaka.lg.jp>

城東図書館のページにはトップページ右側のリンクからご覧いただけます。

対象：どなたでも 定員：当日先着60名

